

③<セルフマネジメント>

自己を管理し、自ら学び続ける教職員であるための校内研修は？

【キーワード】 自己管理 自己理解 学び合い

【事例1：教職員同士の絆を深め、高め合う関係づくりを目指して】

1 ねらい

日頃の悩みを語り合ったり、教職員としてのこれからのあり方を考えたりする研修により、教職員同士の相互理解とコミュニケーションを深め、互いの経験や実践に学び合う。

2 内容

- (1) テーマについて自身の経験を踏まえて発表し合う（座談会）。
- (2) 振り返りを通して、現在の自分を見つめ、今後の仕事や生活に生かしていく。

3 方法

- (1) 座談会に向けて、どのようなテーマで語り合うかを考える。テーマを考える参考として、事前にアンケートなどを実施するとよい。テーマは、教職員全体で考えたい内容や、身近な話題にするなど、語りやすいテーマになるように工夫する。
- (2) 座談会では、テーマに応じてグループ分けを工夫する。内容に応じて、様々なグループ編成が考えられる。
- (3) 専門的な知識をもっている教職員がいる場合は、講話や講習会を行ってみるのもよい。

4 校内研修の様子

- ・キャリアステージが異なる4～5人のグループに分かれて座談会を行った。
- ・「勤務時間」、「教職員生活でピンチだった経験と、それをどう乗り越えてきたか」という2つのテーマについて、日頃から意識していること、悩んでいること、お薦めの方法等について、自身の経験を踏まえ、1人ずつ発表した。
- ・研修の感想を記入し、振り返りを行った。



研修後のまとめ

- 自分が抱えている悩みは、他の先生も同じように抱えていたことが分かり、気持ちが楽になりました。「自分だけじゃないんだ」という気付きが大きかったと思います。そして、自分が考えていなかった方法、思いもよらない工夫等で、その困難を乗り越えてきたことを知り、自分も「やってみよう」「頑張ってみよう」という気持ちになりました。（基礎形成期の教員） **▶セルフチェック③-3**
- 自分のことを考えたり話したりする機会はなかなかないことだと、改めて感じました。年上の経験豊かな先生方の言葉は、重みも深みもあり、力強い言葉に励まされる感じを受けました。（伸長期の教員） **▶セルフチェック③-5**
- 座談会の場が設定されたことで、普段話したり聞いたりできないことを、話したり聞いたりすることができました。自分の失敗を話して、他の人の役に立つのもいいなと思いました。（次世代育成期／管理職の教員） **▶セルフチェック③-10**

【事例2：自分の強みを知ろう】

1 ねらい

- ・自分の強みを知ることで、日々の教育実践に自信をもつとともに、更なる力量向上に生かしていく。
- ・同僚の強みを知り、互いの良さを認め合い、学び合いながら、教育活動を協働して行っていく。

2 内容

- (1)自分の強みと相手の強みを見つけ、伝え合うペアワークを行う。
- (2)ペアワークを通して、自分の強みを自覚し、これからの生活につなげていこうとする思いをもつ。

3 方法

- (1)自分の強みを思いっただけ記入する。書きだす内容は、授業に関するもの、保護者対応に関するものなど、内容を絞るとよい。
- (2)ペアになり、お互いの強みを評価し合う。同教科、同学年、異なるキャリアステージ同士など、様々な編成が考えられる。3～4人のグループで行ってもよい。その後、本人が気付いていない強みがあればワークシートに書き足す。
- (3)これから生かしていきたい強みを書きだし、自分の強みを自覚する。

4 校内研修の様子

- ・「教師としての自分の強み」を思いっただけワークシートに記入した。
- ・異なるキャリアステージの人とペアになり、1項目ずつ評価をし合った。その後、相手の強みを書き足す場を設けたところ、自分では書けていない強みに気付く職員が多く見られた。
- ・実際に見聞きした事実を基に、強みを伝え合った。互いの強みを伝え合うことで、これから生かしていきたい強みを具体的につかむ場となった。
- ・これから教師として生きていく中で、強みとして生かしていこうと思うものをワークシートに記入した。
- ・研修の感想を記入し、振り返りを行った。



研修後のまとめ

○自分で強みだと感じているところを認めてもらい、嬉しく感じた。特に先輩から言われたことは自信がもてるので、更により良くしていきたいと思えた。新しく書いていただいた強みでは、「普段からこんなところまで見てくれているんだ」と嬉しい気持ちと、他人が自分を見ていないと思うところでも「人に見られている」という気持ちで取り組みたいと感じた。(基礎形成期の教員)

▶セルフチェック③-2

○日々の業務に追われていて、自分のことを考える機会はほとんどなかったが、今回の研修を通して、忘れかけていたものを思い出し、明日への活力になった。また、他の先生のおかげに気付くことができ、自分も取り入れていこうと感じた。初任の先生と話をしたことで、自分の初任の頃を思い出し、改めて初心を忘れてはいけないと感じた。(伸長期の教員)

▶セルフチェック③-4

○同僚を評価する機会はなかなかもてないので、このような研修で意見や助言ができるのはよいと感じた。肯定的な自己評価は、年齢的なものか、性格的なものかは分からないが、恥ずかしいと感じた。他の人から強みを示してもらったことで、違った面の強みを発見することができた。(次世代育成期/管理職の教員)

▶セルフチェック③-11